

(株)アイズクリエーション  
代表取締役

PICK UP

THE PERSON

# 口町 裕昭

KEY WORD

現場主義

— genbasyugi —



小学3年生から大学までの十数年間、サッカーに没頭していたという口町社長。「父が若いころサッカーをしていて、私にもやらせたかったようだ。最初は父が喜んでくれるから、サッカーをやっていたようなものでしたね」。しかし、いつしか人のためではなく、自分のために練習を重ねるようになった。持久力と忍耐力。そして、諦めない、負けない気持ち。サッカーを通して学んだことは多く、「挨拶の大切さ」や「現場主義」もその一つだ。経営者という立場に甘んじず、今もなおプレーヤーとしても活躍する社長。現役選手ながら、従業員と共にフィールドを走り回る日々だ。

「『元気な挨拶』と『現場主義』をモットーに、  
従業員と共に今も現場で走り回っています」

# 様々な挑戦を経て運送業に活路を見出し 挨拶を大事に、さらなる事業発展を続ける



代表取締役

口町 裕昭

## 社長の足跡

茨城県古河市出身。学業修了後は大手運送会社に就職して約6年間勤務。28歳の時に起業する。IT関係からスタートして、電気関連の事業、投資、海外でのゴールド関係の事業など様々なことを経験する。5年前、すでに2014年に設立していた『アイズクリエーション』で、運送事業を開始する。

これまで様々な会社を立ち上げ、いくつもの事業を手掛けてきた口町社長。2014年に設立した『アイズクリエーション』もその中の一つだ。元々はIT関連の事業を行っていたが、5年前からは運送事業にシフトチェンジ。新たな一步を踏み出した同社を、本日はタレントの松尾伴内氏が訪問。お話を伺った。

た。もうゼロではなく、マイナスからのスタートでしたね。  
——それでも、諦めずにまた挑戦してみようというところが素晴らしいです。  
—— 当時は子どもが1歳になるころで、これからはマイナスをプラスにし、子どもも育てていかないといけないと必死だったんです。それで、昔携わっていた運送の仕事で再スタートを切りました。最初は一次契約ができず、一次契約の会社から仕事をいただくかたちで3年半ほど経験と信用を蓄積し、1年半前によく一次契約を勝ち取ることができました。  
——そこから徐々に人も増やしてこれたのですか。  
—— ええ。人を増やせば車も必要になります。が、蓄えがないのでそう簡単にはいきません。その中で車の販売会社の社長さんや同業の社長さんとの出会いがあり、色々とお力添えをいただいて従業員や車を増やし、人脈を広げることができました。現在は従業員も50名以上。振り返ってみればたくさ

んの失敗を経験し、人に裏切られたこともありましたが、やっぱり支えてくれるのは人ですし、ここに至って人との出会いに恵まれてありがたく思っています。  
—— これまで立ち上げられた他の会社は、今も経営されているのでしょうか。  
—— はい。今も複数の会社を経営しています。この『アイズクリエーション』も元々はIT関連ですが、1年半前からは運送会社として再始動し、これからは運送事業1本でブレることなくやっていけたらと思っています。  
—— お話も尽きませんが、最後に将来の夢や目標をお聞かせください。  
—— 今年中には車を100台にしたいと思っています。そして将来も身体が動く限りはずっと現場で仕事をしていきたい。元々運送の仕事が好きなので、まだまだ経営だけに専念するつもりはありません。社長が率先して動かないと誰もついてきませんしね。現場主義を貫き、従業員と共に事業を発展に導いていけたらと思っています。

## CHECK POINT

### 「やる気」と「挨拶」を大切に人材を育成

▼わずか数人からはじめた運送事業だが、順調に業績を伸ばし続けて、今では55名の大所帯に成長した。コロナ禍もあってインターネット通販の市場がさらに拡大し、運送業界は慢性的な人手不足に陥っている。その中でこれだけの人材を確保できるのは何故なのだろうか。

▼社長は人材を選ぶ際に大切にしている条件がある。それは「挨拶」だ。挨拶が大事だと教えてくれたのは、社長の祖母なのだそう。「当社ではやる気と運転免許、元気な挨拶ができる方なら、どんな方でも一人前のドライバーにな

れるまで、全面的にサポートしますよ」と社長は話す。また、「運送業には過酷なイメージがありますし、保証面に対する不安もあって人が集まりにくいという一面もある」と語り、老若男女問わず働きやすい環境をつくること、未経験からでもはじめやすい育成環境をつくることを心掛けているとのこと。

▼運送業界もAIやドローンの導入によって徐々に様変わりの気配を見せているが、「まだまだ人の手が必要」と社長。一つひとつの荷物を大切に、手から手へと運ぶ日々だ。



——では6年お勤めをされて起業されたのでしょうか。  
—— ええ。運送ではない他の仕事をしてみたいと思い、IT関係の勉強をしていたんです。それで起業してからはサイト運営の仕事を3〜4年していました。その中で『東京電力』さんの仕事をやってみたいかというお話をいただきましたね。  
—— それはどんな内容だったのですか。  
—— 電気のメーターの取り替えをする仕事で

した。そこから電気の勉強をして認定試験を受けて事業をスタートしたんです。少しずつ利益が出だすと、色々な投資話も舞い込んできて投資をするようにもなったのですが、なかなかうまくいかなかった。7年ほど前からは海外のビジネスにも関わるようになりました。  
—— 社長は色々なことに挑戦してこれたのですか。海外のビジネスとおっしゃいますと、どのような？  
—— ゴールドのビジネスです。知り合いの社長さんがアフリカでそのビジネスをされていて、最初はお手伝いをする程度だったんです。1年間ほど一緒に海外に行ったり、社長が行けない時は代理として行ったり。その中で現地の方とも人脈ができ、ノウハウも身についたので自分でやってみようと思ったんです。  
—— アフリカでゴールドを買うということでしょうか。  
—— ええ。現地の方からゴールドを安く譲り受け、ドバイで売るんです。その後、色々あってガーナという国で取引引きをはじめたのですが、現地の人に騙されて一文なしになってしまつて。日本に戻ってきたのが5年前なんです。  
—— そこからこちらの会社を立ち上げられたのでしょうか。  
—— 私はこれまでいくつか会社を立ち上げていて、この会社は2014年に設立していったんです。元々IT関連の事業をするために立ち上げたのですが、しばらくそのままになっていて。ゴールドのビジネスをしている時も、別の会社で『東京電力』さんの仕事は続けていましたが、もう完全に人任せだったので成り立っていない状態でした。



### ●ゲストインタビュアー：松尾 伴内 (タレント)

「小学生のころから続けてこれたサッカーを通じて、様々なことを学んだとおっしゃる口町社長。特に諦めない気持ちや負けたくないという気持ち、忍耐力、持久力は大きな財産となり、社会人になってからも、経営者になってからも大いに役立ったそうです。今も従業員さんと一緒にハンドルの握っておられる社長。これからは益々お元気で頑張ってください！」



## 株式会社 アイズクリエーション

【本社】東京都中央区銀座 6-3-6 栄ビル 5F  
【支店】千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 3-1-5  
URL : <http://eyes-c.jp>